



日本シイエムケイ株式会社
(証券コード：6958)

2026年3月期 第2四半期 決算説明会資料

2025年11月14日

日本シイエムケイ株式会社

1. ハイライト
2. 2026年3月期 上期連結業績と通期見通し
3. 成長戦略
 - 3-1. 車載成長戦略
 - 3-2. 新事業領域成長戦略
4. タイ新工場の稼働
5. ESGの取組み

1 ハイライト

①26/3期 通期見通し修正サマリー

	修正前	修正後
売上高	960億円	960 億円
営業利益	40億円	31 億円
経常利益	34億円	41 億円
当期純利益	20億円	34 億円
配当	10円／株	20円／株

③新事業領域サマリー

新事業領域への挑戦

- ・高多層・細線化・厚銅・放熱分野に集中
- ・グローバルでの成長分野への拡大

②下期注力ポイントサマリー

中国セグメントの収益改善と統合ECUの拡大

- ・大判化効果
- ・統合ECU堅調

④タイ新工場の稼働サマリー

11月10日 稼働開始

- ・タイ 新工場の立上進捗
- ・自動化/大判化/省人化



最新鋭工場による更なる成長拡大

2. 2026年3月期 上期連結業績と通期見通し



①連結業績サマリーと通期見通し

■ 決算のポイント

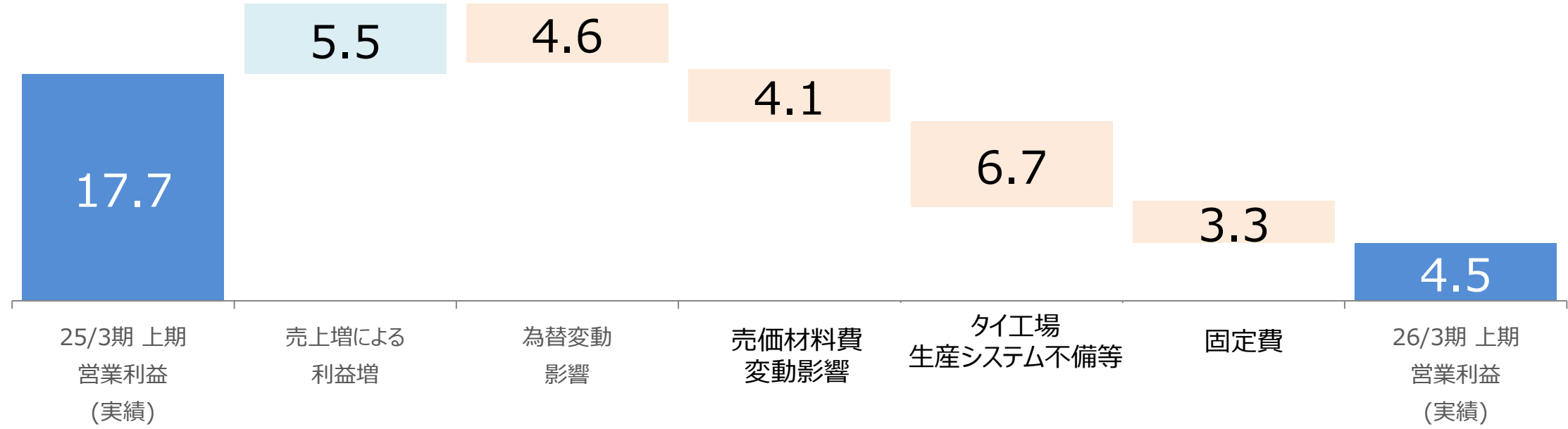
- ・売上高 : 走行安全系向けの販売が堅調に推移し、増収
- ・営業利益 : タイ工場の生産システム更新に伴う対応の影響を受け、稼働の低下により減益
- ・経常利益 : 為替差益7億円を計上 海外子会社への外貨貸付借入評価差益（前年20億円益）
- ・当期純利益 : 投資有価証券売却益 12億円計上

(百万円)	25/3期 上期	26/3期 上期	前年同期比	25/3期 通期	発表値 (5/13)	26/3期 通期見通し
売上高	46,276	47,212	+936	95,486	96,000	96,000
営業利益	1,766	448	-1,319	3,807	4,000	3,100
利益率	3.8%	0.9%	-2.9%			
経常利益	3,762	1,092	-2,670	5,533	3,400	4,100
当期純利益	2,595	1,492	-1,103	3,789	2,000	3,400
平均為替レート (USD/JPY)	154.08	147.48	-	152.27	145.00	145.00
配当				20円	10円	20円

※「親会社株主に帰属する当期純利益」を「当期純利益」として記載

②営業利益増減分析

(単位：億円)

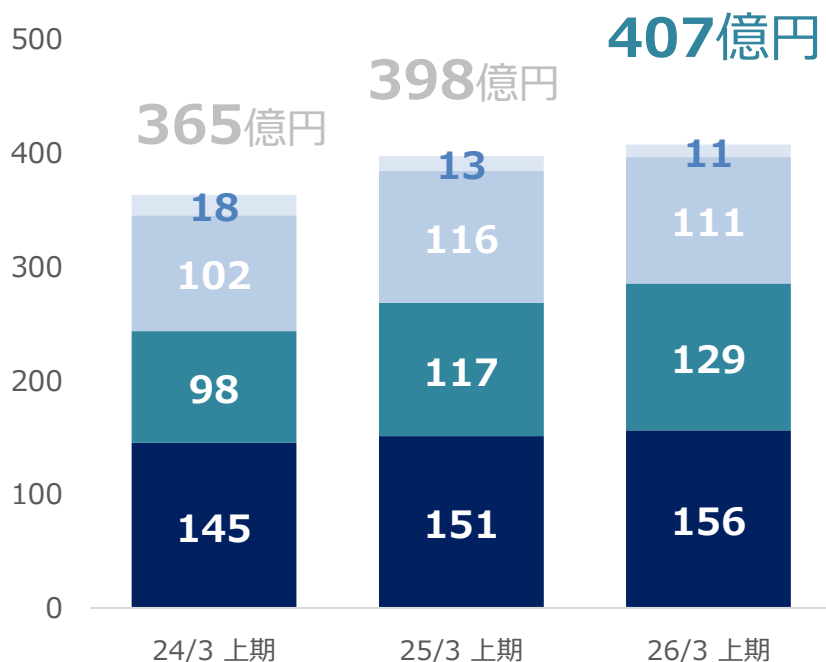


③車載用途別・基板種別・外資顧客別推移

車載用途別売上高

- 競争優位性のある「パワートレイン・走行安全系」の売上は順調に増加

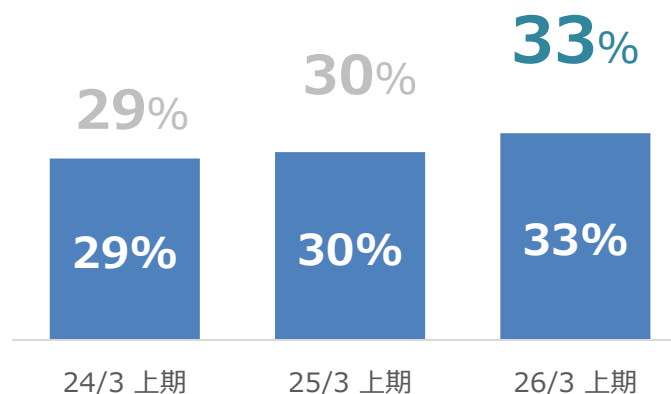
(単位：億円)



■ パワートレイン系 ■ 走行安全系 ■ ボディ快適系 ■ 情報通信系

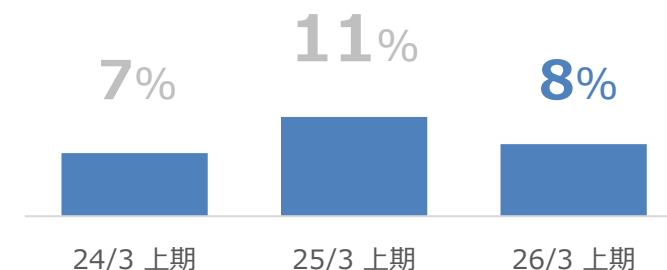
車載ビルドアップ売上構成比

- 付加価値の高いビルドアップの売上構成比が向上



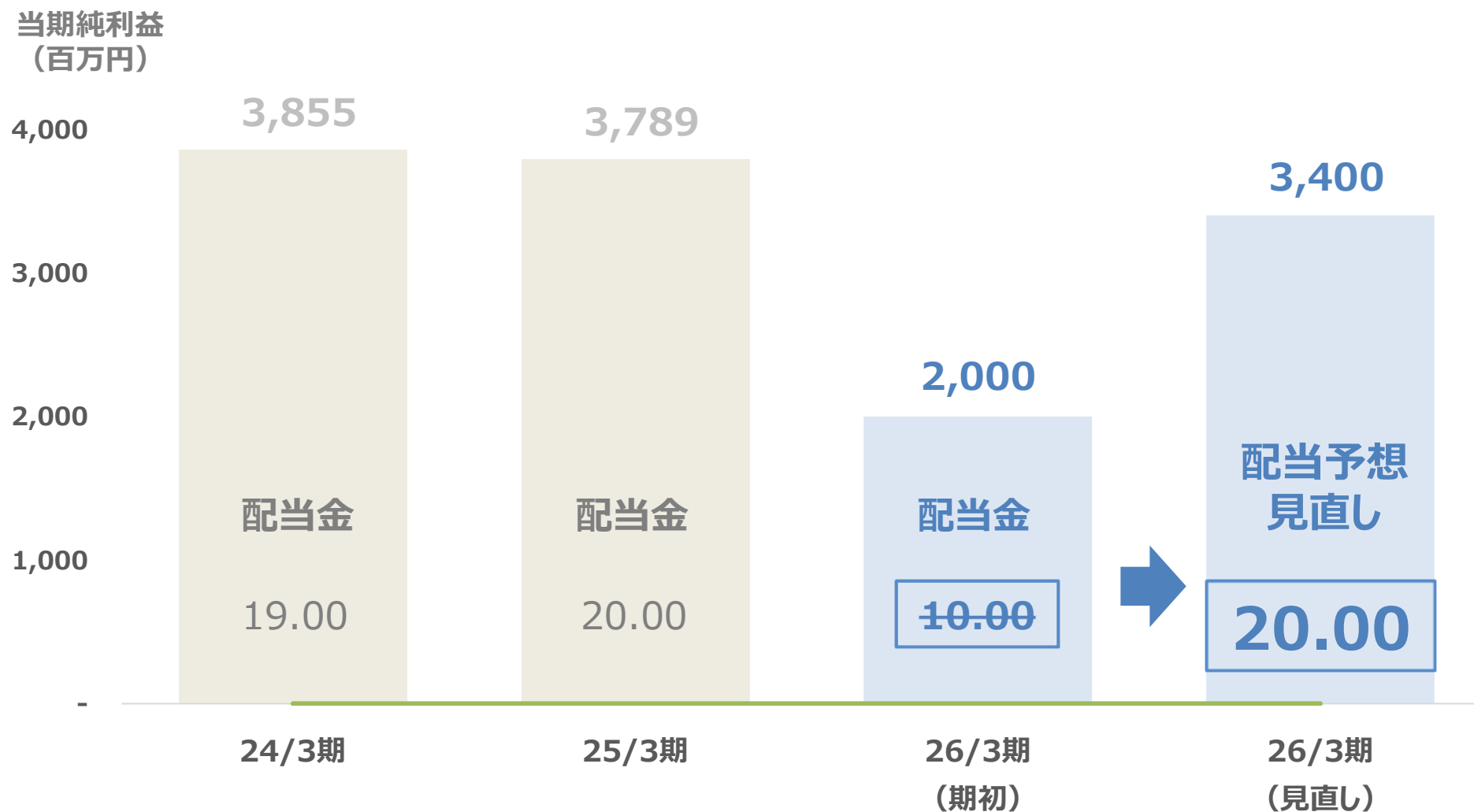
外資顧客別売上高構成比

- 欧州市場の停滞による外資主要顧客向けの販売不振により売上高構成比が減少



④財務政策について（配当）

■ 投資有価証券を売却し、キャッシュフローを改善して、財務体質を強化するとともに配当予想を見直し



3. 成長戦略

ポートフォリオの多角化へ

新事業領域 (成長産業への挑戦)

- 次世代モビリティ・航空宇宙事業
- 通信事業
- 半導体関連事業
- 産業用機器・ロボティクス事業
- 医療事業
- 交通・インフラ事業

車載高付加価値領域 (ビルドアップ)

- ・車の高機能化/統合化
- ・統合ECU/ADAS/自動運転
- ・ビルドアップ需要拡大

グローバル マーケットへ拡大



当社コア技術の活用

当社の強み

ビルドアップ・高多層技術

高信頼性

戦略投資 技術への挑戦

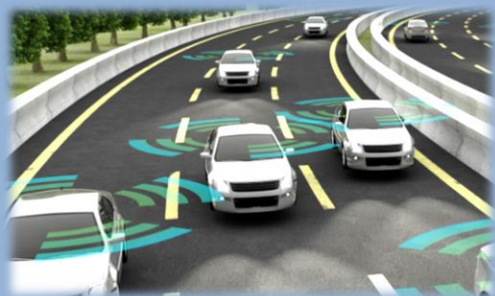
- ・高多層化
- ・ファイン化
- ・自動化（省人化）



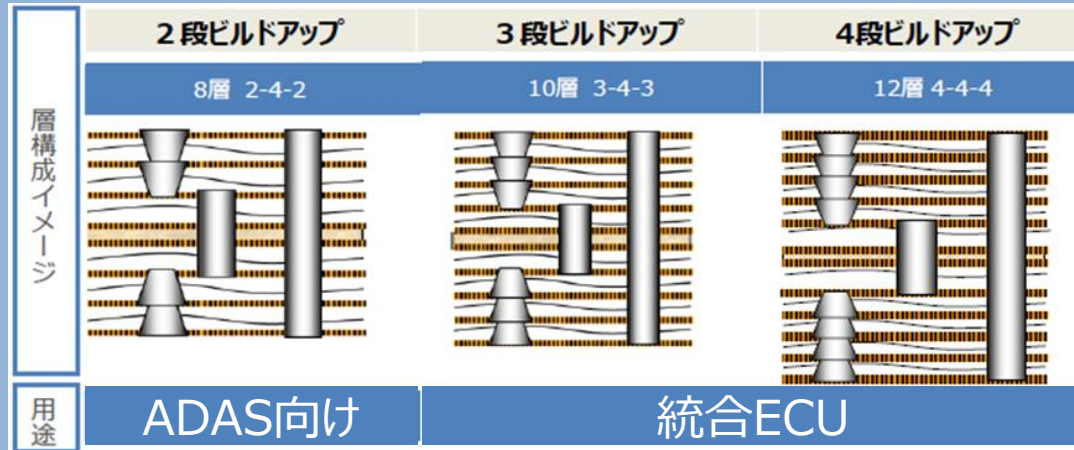
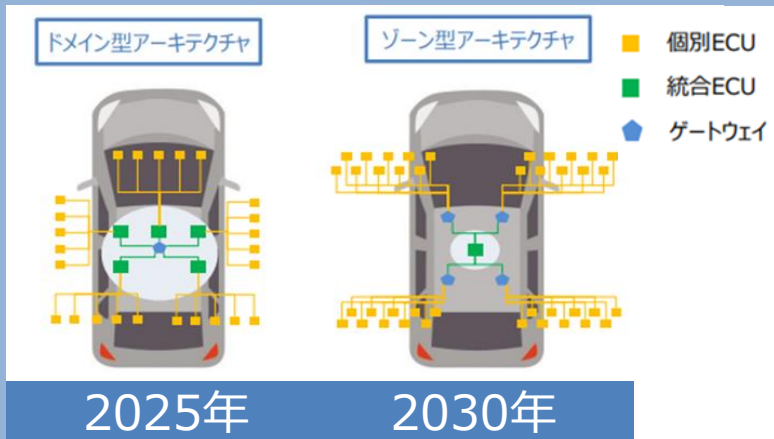
車載成長戦略 (→ 3-1)

①車載成長戦略

■市場動向：車の中で高機能の半導体が増加 → “ビルドアップ”基板の需要拡大”



- 自動運転技術の進化
- 安全性・認識精度向上



■ ADAS・統合ECU 基板動向

■ CMK強み

品質要求

技術要求

部品
信頼性確保

高密度

電子基板の需要動向と
当社強みがマッチング
“ビルドアップ”が収益を牽引”

豊富な
車載実績

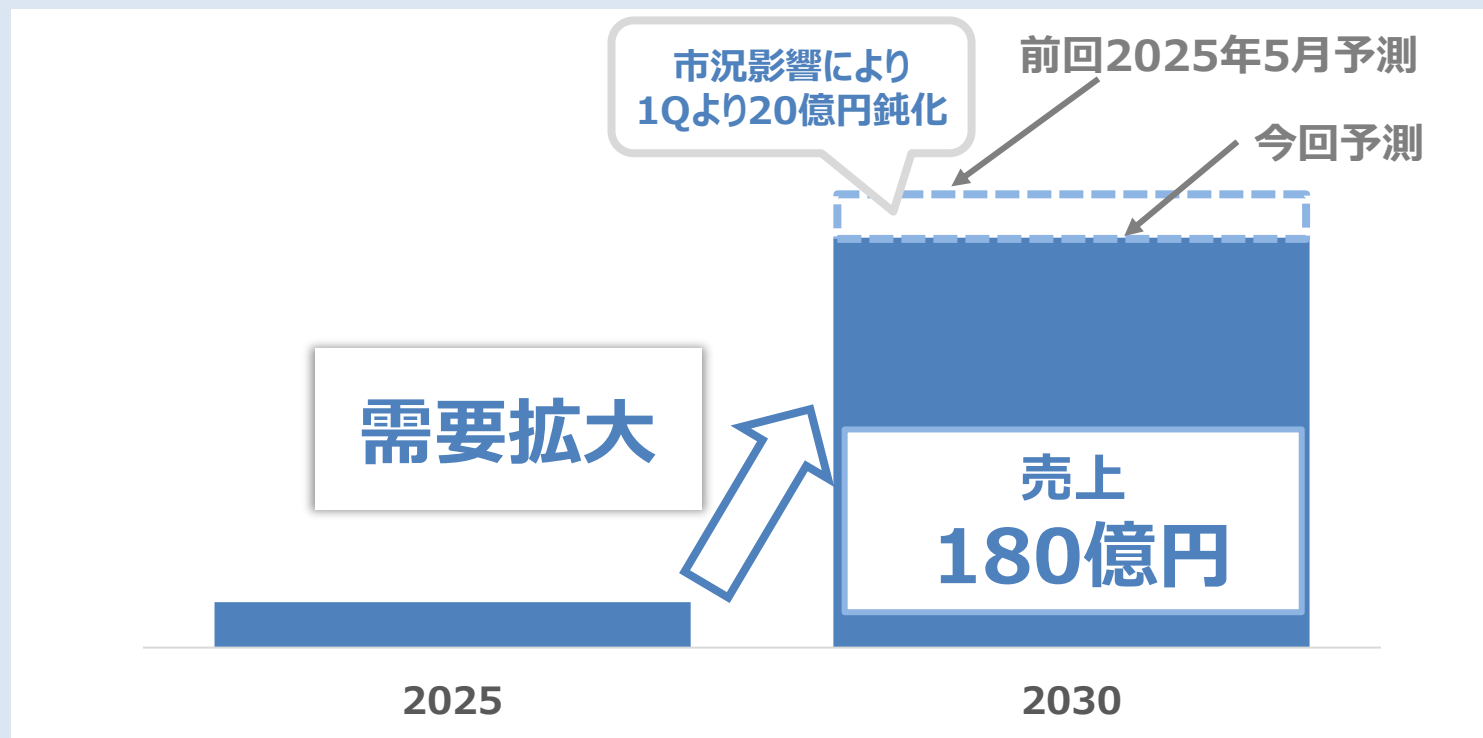
ビルドアップ
技術
多層技術

*ADAS：先進運転支援システム

②統合ECU基板の動向

- 成長ドライバーである「統合ECU」の需要は増加する見込み ➡ グローバル生産への展開
- ビルドアップの多段品によるミックス改善効果が期待

<統合ECU需要見込み>



③生産性向上の改善効果

- 「大判化」、「自動化」、「知能化」による設備投資の効果
- 生産効率改善を目的とした改善活動

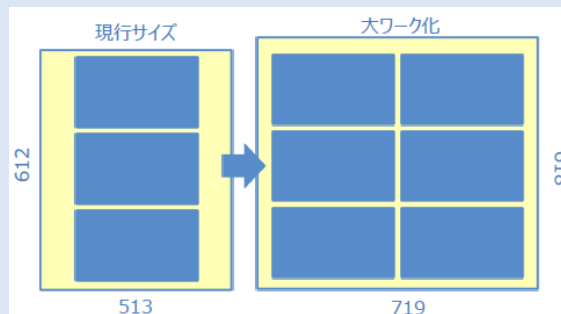


収益の改善

中国工場への投資改善効果

■大判化

大判化効果



■自動化



* PDA Personal Digital Assistant「携帯情報端末」

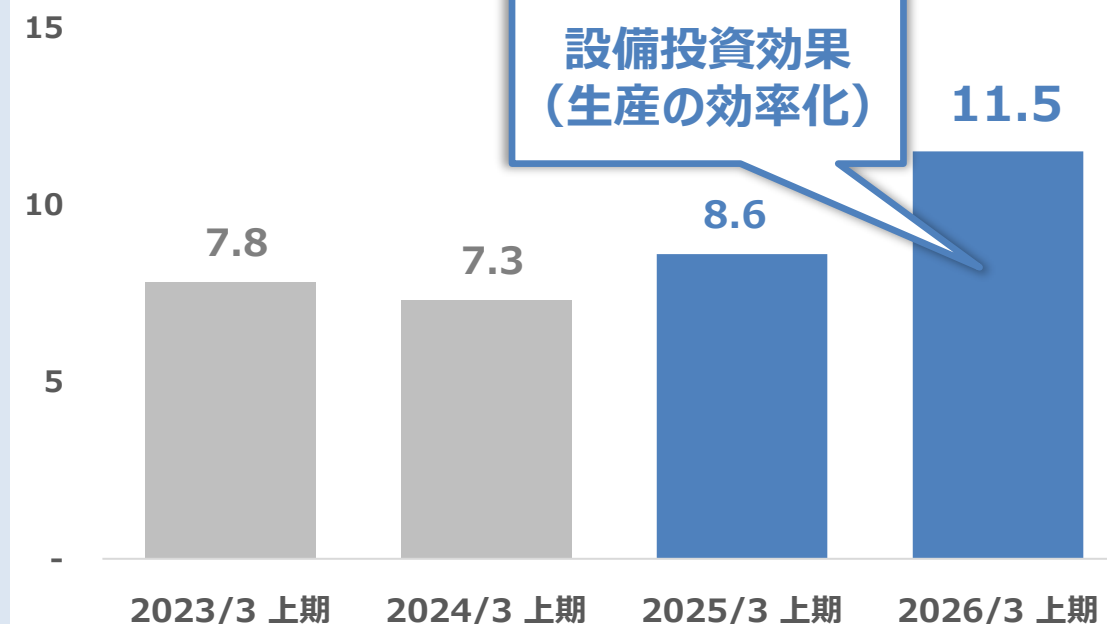
■知能化

- ・ペーパーレス
- ・リアルタイム性
- ・正確性
- ・効率向上

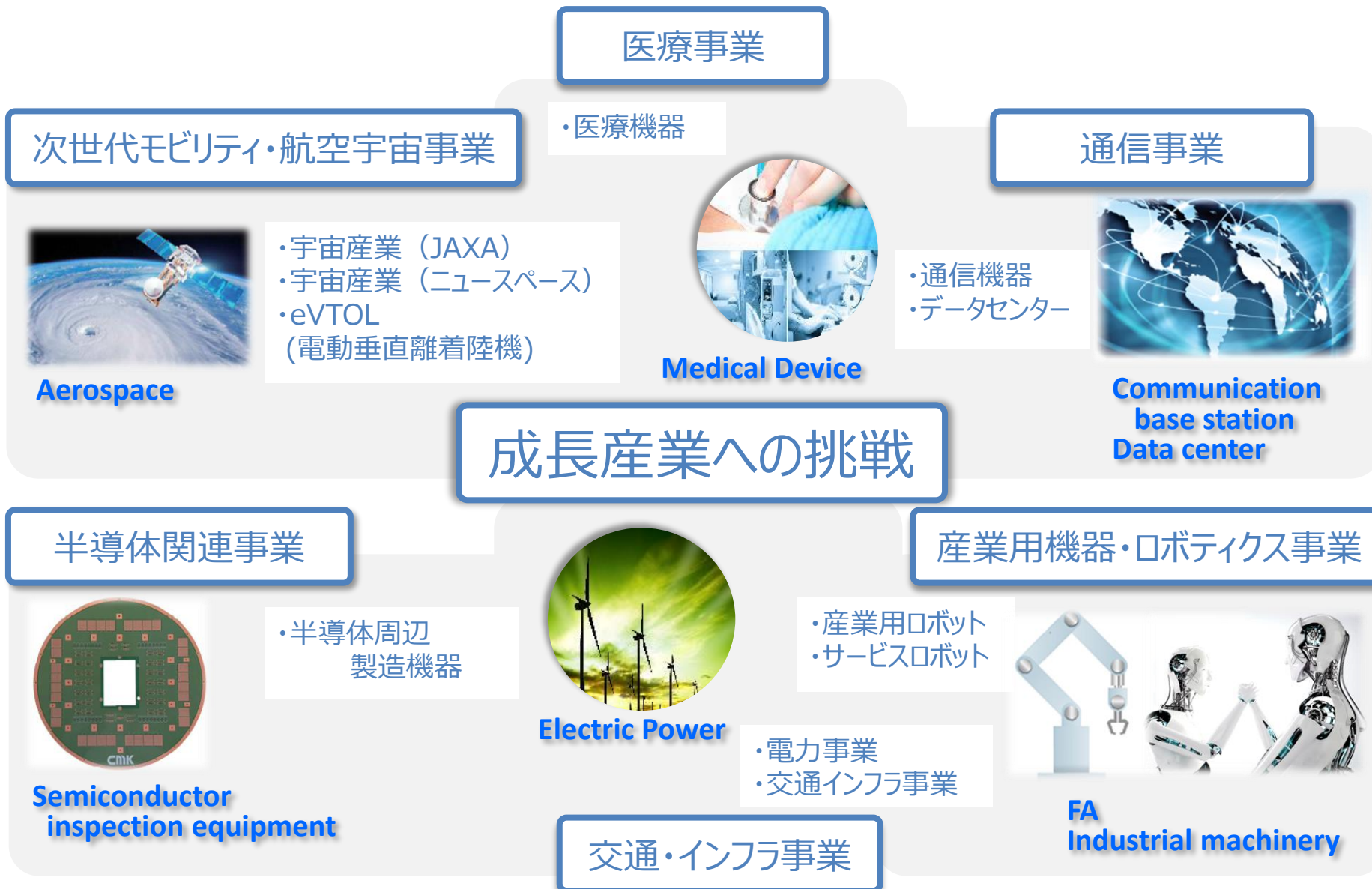
中国セグメント収益推移

億円

営業利益



新事業領域成長戦略 (→ 3-2)



新事業営業部
新事業領域の営業体制を強化

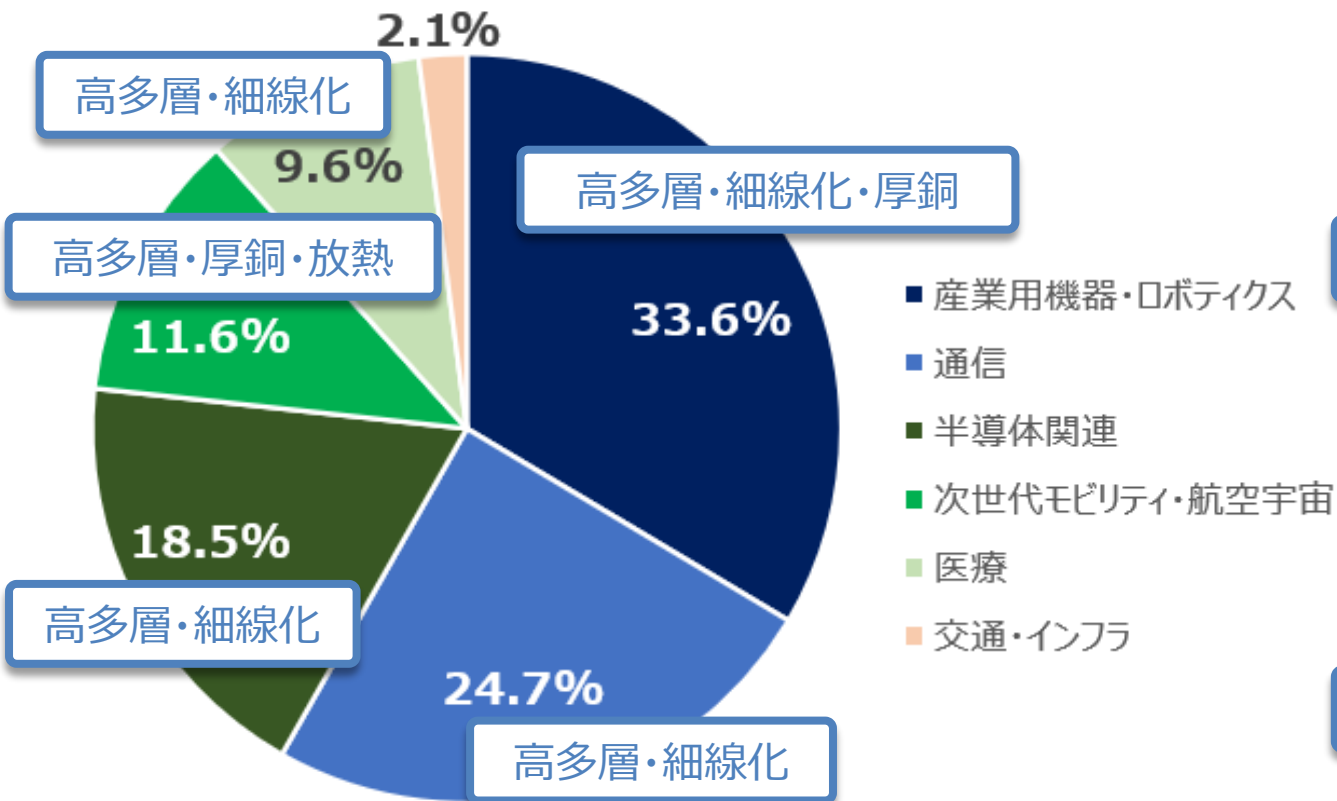
- ▶ 市場や顧客層を開拓
- ▶ 将来の収益拡大を実現
- ▶ 価値提案を通じて競争力を高め、企業全体の更なる成長を目指す



多様化する顧客ニーズに応える体制

①新事業領域・試作の受注実績

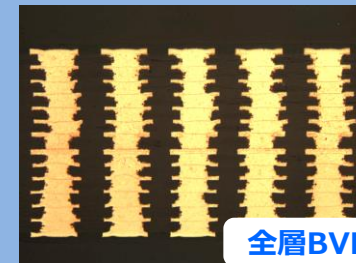
■新事業領域試作受注件数占有率



開発・試作、小ロット生産から量産へ拡大を狙う

BVH基板

- 高多層ビルドアップ
- 細線化技術
- *レーザー穴を用い
高密度配線を実現



全層BVH

14層 6-2-6 Any Layer基板

DPGA基板

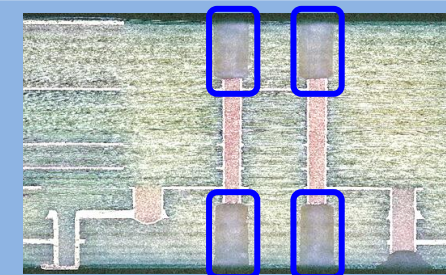


DPGA基板 (Daiwa Process Global Advance)

- * 放熱特性に優れたプリント基板工法による基板

バックドリル

- 高速信号アプリケーションの
信号品質を確保
- めっきされたスルーホールから
スタブを除去



- * スタブ: 主配線から枝分かれした配線の余分な部分)

4. タイ新工場の稼働

タイ新工場の状況



CMK CORPORATION(THAILAND) 新工場は11月10日より稼働開始済

生産製品

主力製品：ビルドアップ基板

技術

▶ 設備技術

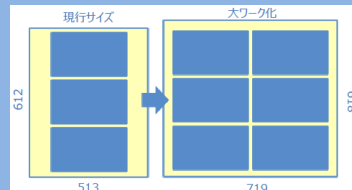
これまでCMKグループで培った
ノウハウを蓄積した設備を導入

▶ 自動化技術

省人化 … 固定費削減
タッチレス作業 … 歩留り改善
(自動搬送装置)
作業効率の改善 … 生産効率改善

▶ 大判化

生産性向上



▶ 信頼性技術

信頼性試験装置 … 高信頼性の確保

新工場設備



NC穴明



レーザー穴明



回路形成



既存工場

新工場



5. ESGの取組み

ESGの取組み

地球環境の保護



CDP2024
「気候変動レポート2024」
「B」スコアに認定

▶ カーボンニュートラルへの取組み

- ・太陽光発電 : 新潟工場屋上に太陽光パネルを設置し
2026年8月より稼働開始
- ・グリーン電力の導入 : 中国工場（CMK無錫・旗利得電子）グリーン電力を導入
2025年度再エネ導入
CMK無錫100% 旗利得電子43%（2026年度 100%）
- ・電力の削減 : 電力定格の大きいユーティリティ設備など
老朽化設備を計画的に入替え
（エネルギー使用量を削減）

640枚設置
設置イメージ



新潟工場

社会への
責任と貢献

▶ 絶滅危惧種の保護を通じた生物多様性保全活動

- ・生物多様性・地域貢献として蒲原工場でおこなっている生息地保護活動
（絶滅危惧種である淡水魚「トゲソ」(トミヨ属淡水型)
- ・環境月間に合わせて協賛品販売及び社内募金を実施

▶ アルビレックス新潟とオフィシャルパートナー契約を継続

- ・地域の方も参加可能な交流会を新潟工場で開催



絶滅危惧種「トゲソ」
（標準和名:イバラトミヨ）

本資料における将来情報は、2025年11月時点での見通しであり、
その実現を保証するものではありません。

（金額は切捨て、%は小数第二位を四捨五入にて表示）

END